



第14回日本ジオパーク全国大会下北大会 分科会開催概要

「ジオパーク」をキーワードに、教育、経済、環境など様々な分野について、事例発表やグループワークをとおして議論を深めます。

1. 開催日時

2024年9月1日(日) 9時00分～12時00分

2. 会場

本大会では14の分科会(ユースセッションを含む)は以下の会場で開催いたします。

- ◆下北文化会館(〒035-0072 青森県むつ市金谷一丁目10番1号): 5会場
- ◆プラザホテルむつ(〒035-0061 青森県むつ市下北町2番46号): 6会場
- ◆しもきた克雪ドーム(〒035-0075 青森県むつ市真砂町8番8号): 1会場
- ◆むつマエダアリーナ(〒035-0075 青森県むつ市真砂町9番1号): 1会場
- ◆むつ市下北自然の家(〒039-4401 青森県むつ市大畑町佐助川399番地): 1会場

各分科会会場につきましては、各分科会の概要をご覧ください。

3. 分科会会場の変更

次の分科会の開催場所が変更となりました。該当する分科会に参加される方はご注意ください。

- ◆分科会 No.3 「実験を活用したジオパーク教育の手法と活用」

会場: プラザホテルむつ プラザホールA・B へ変更

- ◆分科会 No.4 「青少年教育施設とジオパーク」

会場: プラザホテルむつ2階 琴・舞 へ変更



7. 各分科会概要

ジオパークの”いろは”			
開催場所	プラザホテルむつ プラザホールD	参加人数	76
企画団体	下北ジオパーク推進協議会		
世話人	甲健太（下北ジオパーク推進協議会）		
概要	<p>それぞれの発表者の新任の頃を振り返り、自分がどのようにジオパークを理解して活用できるようになったのか、どうネットワーク活動に参加し、活用できるようになったのかを話します。</p> <p>現在、各地域で活躍する人、誰にでも、初めて（いろは）はありました。そのときの葛藤や悩みを話し、それをどう乗り越えたのかを伝え、ジオパークに関わって自分の中でどのような変化があったのか、なにか行動や思考の変容があったのかを共有することで、新任担当者やジオパークの活用の仕方に悩む行政職員などに、ジオパークの活用の仕方のヒントを与え、自地域に戻ったあとにジオパークを使って何かをしてみたいと思えるようなきっかけを作ることを目的とします。</p>		
参加推奨	<ul style="list-style-type: none">・ジオパーク担当2年以内（新任担当者）・ジオパークの活用の仕方に悩んでいる人・行政職員歓迎		
開催形式	事例共有型		
スピーカー	<ul style="list-style-type: none">・下村圭氏（三笠ジオパーク）・柴ひかり氏（桜島・錦江湾ジオパーク）		
備考	筆記用具をご持参ください		



ガイド交流会			
開催場所	むつマエダアリーナ サブアリーナ	参加人数	71
企画団体	桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会		
世話人	福島大輔氏（桜島・錦江湾ジオパーク）		
	今井ひろこ氏（山陰海岸ジオパーク）		
概要	全国のガイド同士の交流、情報交換を主な目的として、グループで対話する場をつくります。5名程度のグループで輪になって、お互いのジオパークの紹介や活動の紹介、ガイドの小道具の自慢のほか、困っていることや相談したいことなど、色々なテーマでお話をしてもらいます。グループは何度か入れ替えをするので、たくさんの人と交流、情報交換ができます。この交流会が終わった後には、きっと全国にたくさんの仲間ができていくことと思います。		
参加推奨	・ジオパークガイドの方 ・ジオパークのガイド活動に興味のある方		
開催形式	その他		
備考	・自身の名刺とパンフレット（全30枚ほど）ご持参ください。		



実験を活用したジオパーク教育の手法と活用			
開催場所	プラザホテルむつ プラザホールA・B	参加人数	53
企画団体	下北ジオパーク推進協議会		
世話人	林信太郎氏（秋田大学名誉教授）		
概要	<p>各地の地質遺産や地学現象を直接体感できるジオパークは、地球の雄大なスケール感を体感することができます。しかし、大きな時間・空間スケールの現象を説明だけで子供達に理解させることは難しいのが現状です。キッチン火山学をはじめとした実験を取り入れた教育授業は、地学現象を室内で再現することで、実感を持った理解をしてもらうことのできるプログラムとして、近年各ジオパークで取り入れられています。実験によって、何を子どもたちに考えさせるか、授業のさまざまな場面での実験の取り入れ方、教育効果の検証などが、課題となっています。</p> <p>本分科会では、各ジオパークで使われている実験のワークショップや実際に学校教育に組み込んでいる例を現場で取り組まれている方々に事例発表して頂き、実験授業の更なる普及と発展を目指します。</p>		
参加推奨	<ul style="list-style-type: none">・ジオパークで学校教育に携わっている方・実験を使った授業に興味のある方		
開催形式	事例共有型		
スピーカー	<ul style="list-style-type: none">・佐藤公氏（磐梯山噴火記念館）・菊池光和氏（男鹿半島・大瀧ジオパーク）・横山光氏（北翔大学）		
備考	ジオパーク教育やガイド活動等で使われる実験を実際に会場で行い、お互いに見学することを予定しております。紹介したい実験をお持ちの方は是非ご参加ください。		



青少年教育施設とジオパーク			
開催場所	プラザホテルむつ2階 琴・舞	参加人数	23
企画団体	栗駒山麓ジオパーク推進協議会		
	国立花山青少年自然の家		
世話人	原田拓也氏（栗駒山麓ジオパーク推進協議会）		
概要	<p>青少年教育施設（青少年自然の家など）では、その地域の特色に合わせた自然体験プログラムを提供しています。ここにジオパークの視点を加えることで、提供できるプログラムの幅が広がると共に、より多くの方が地域の自然やジオパークへ興味・関心を持つことにつながります。</p> <p>本分科会では、ジオパークと青少年教育施設が連携している地域の実施事例や連携までのプロセス等について紹介し、両者の連携の可能性について考えます。</p>		
参加推奨	<ul style="list-style-type: none">・自然の家などの教育施設との連携活動に興味がある方・今後連携した活動をしたいと考えている方		
開催形式	事例共有型		
スピーカー	<ul style="list-style-type: none">・山田健一氏、川村宣丈氏（国立花山青少年 自然の家）・永田紘樹氏（阿蘇ジオパーク）・牛田卓也氏、宮本大氏（国立阿蘇青少年交流の家）・山岡浩子氏（室戸ジオパーク）・西岡敬三氏、岡田泰憲氏（国立室戸青少年自然の家）・中村有吾氏（十勝岳ジオパーク）・石田貴宏氏、後藤壮人（国立大雪青少年交流の家）		
備考			



ジオパークで温泉の多面的な価値を知る			
開催場所	下北文化会館1階 マルチルーム5・6	参加人数	33
企画団体	湯沢市ジオパーク推進協議会		
世話人	高柳春希氏（湯沢市ジオパーク推進協議会）		
概要	<p>温泉は、ジオパークの恵みを直に体験できる重要な資源です。</p> <p>世界屈指の温泉の湧出量を誇る日本ジオパークでは、温泉に関する多面的な研究や活用がなされています。一方でこれらの情報を共有する温泉分科会はこれまでありませんでした。</p> <p>本分科会では、温泉の成り立ちやそれらを取り巻く環境の紹介、温泉への理解を深めるための実験（温泉草木染）を行うことに加え、温泉を見どころとするジオパーク地域の活用事例の共有も行います。</p>		
参加推奨	<ul style="list-style-type: none">・温泉を含んでいるジオパークの方・温泉が好きな方		
開催形式	事例共有型		
スピーカー	<ul style="list-style-type: none">・長尾隼氏（栗駒山麓ジオパーク）・井口祐作氏（箱根ジオパーク）		
備考			



大地と自然と人をつなぐフェノロジーカレンダーの世界 ～Phenology Calendar unite all of us sharing Geopark World～			
開催場所	プラザホテルむつ2階 フローラ	参加人数	40
企画団体	磐梯山ジオパーク協議会		
世話人	蓮岡真氏（磐梯山ジオパーク協議会）		
	海津ゆりえ氏（磐梯山ジオパーク協議会）		
概要	<p>私たちは、全国のジオパーク仲間と『大地と自然と人々のつながり』を大切に、保全・教育・持続可能な開発といった活動や事業を進めています。本分科会を担当する磐梯山ジオパークも地域のあるべき姿を実現するために活動を続けています。</p> <p>その中で、地域の多様な“お宝”や暮らしがジオパークとつながり、「ジオストーリー」として感じられる手段や方法の改善が課題でした。そのような中で、2019年末に『フェノロジーカレンダー(生活季節暦)』に出会い、コロナ禍で作成に取り組み、2023年に完成しました。</p> <p>本分科会はその考え方、実用性について紹介し、制作ワークショップを行います。ジオパークにおける多様なツーリズムの発展に貢献したいと考えています。</p>		
参加推奨	<ul style="list-style-type: none">・まちのお宝について、つながりを可視化してみたい方・まちづくりに取り組む観光・農業・商工業・教育関係の方		
開催形式	グループワーク型		
備考			



野生生物をめぐるジレンマ -二律背反的な課題に対して、ジオパークとしてどう向き合うか-			
開催場所	下北文化会館2階 大集会室	参加人数	19
企画団体	生態学ワーキンググループ、下北ジオパーク推進協議会		
世話人	平田和彦氏（千葉県立中央博物館分館海の博物館）		
概要	<p>下北半島のニホンザルは、ヒトを除く霊長類の中で最も北に生息する個体群であり、その学術的価値から国指定天然記念物として保護されています。一方で地域ではニホンザルによる農作物被害も起きており、保護と駆除の両立が課題となっています。</p> <p>野生生物を巡っては、このような「彼方立てれば此方立たぬ」関係の事例が全国に多数あり、ジオパークとしてどのように向き合うべきか、悩みを抱えている地域は少なくありません。</p> <p>本分科会では、このような二律背反的な事例を複数取り上げながら、ジオパークとして野生生物をめぐる課題にどのように向き合うべきか、参加者間で認識を深めます。</p>		
参加推奨	・野生生物や生態系の保全、生物資源の活用に興味のある方		
開催形式	事例共有型		
スピーカー	・松岡史朗氏（NPO 法人ニホンザル・フィールドステーション） ・長船裕紀氏（鳥海山・飛鳥ジオパーク） ・水永優紀氏（アポイ岳ジオパーク）		
備考			



気候変動とジオパーク 私たちにできることを考える			
開催場所	下北文化会館2階 第1・2教室	参加人数	31
企画団体	気候変動アクションワーキンググループ		
世話人	金森晶作氏（とちぎ鹿追ジオパーク推進協議会）		
概要	<p>気候変動の問題は、ジオパーク活動でも重要視している、社会の重要課題です。しかしながら、問題意識は持っていても、個人として、ジオパーク地域として、気候変動への具体的なアクションを考えると、何をしたらよいか、よくわからない方も多いのではないかと思います。</p> <p>本分科会では、人類にとって大きなリスクである気候変動の現在地と将来予測について科学的な知見を共有し、自分たちの地域への影響や、ジオパークに関わる私たちができることについて、情報や知恵を出し合い、考えていきます。</p>		
参加推奨	<ul style="list-style-type: none">・事務局長、専門員ほか、ガイドの方・気候変動のアクションに興味のある方		
開催形式	グループワーク型		
スピーカー	<ul style="list-style-type: none">・福井智香子（三好ジオパーク構想）・大岩根尚氏（三島村・鬼界カルデラジオパーク）		
備考			



ユニバーサルデザインがつなげる多様な人と大地とその心地よい未来			
開催場所	プラザホテルむつ2階 セレーナ	参加人数	16
企画団体	ユニバーサルデザインワーキンググループ		
世話人	松原典孝氏（兵庫県立大学・山陰海岸ジオパーク）		
	西島昭治氏（霧島ジオパークユニバーサルデザインフォーラム）		
	丸橋暁氏（ジオゆに）		
	北村まさみ氏（つくばバリアフリー学習会・筑波山地域ジオパーク）		
概要	<p>多様な地球の営みをジオツーリズムや教育活動などを通じて学び、理解し、持続的な発展を図るジオパークにおいては、多様な人が多様な立場から意見を出し合い議論し、互いを理解し、多様性を寛容に受け止めながら強みとすることが大切です。同様に、地球もまた多様であるため、人と地球を結びつける手法にも多様さが求められます。多様性を強みに生かすことができるユニバーサルデザインの考え方は、ジオパーク活動を通じた”持続可能な地球”実現に多分に親和的な考え方です。</p> <p>本セッションでは、ユニバーサルデザインの立場から、どうすれば多様な人と大地をつなぎ、その心地よい未来を実現できるかを議論します。</p>		
参加推奨	<ul style="list-style-type: none">・ユニバーサルデザインに関心のある方・各地域や自治体で福祉に携わる方・ユニバーサルツーリズムに関心がある方		
開催形式	グループワーク型		
備考			



地質物品の保護と販売			
開催場所	下北文化会館2階 第3・4教室	参加人数	25
企画団体	地質物品ワーキンググループ		
世話人	小河原孝彦（糸魚川ジオパーク協議会）		
概要	ジオパーク活動において、地質物品の販売は重要な問題となっています。この分科会では、ワーキンググループで制作した地質物品の販売問題を解説したパンフレットを、ジオパーク地域で利用した事例を紹介します。また、地質物品の販売問題について、グループワークを通じて議論を深めていきます。		
参加推奨	・地質物品の販売問題について興味のある方		
開催形式	グループワーク型		
スピーカー	・鬼丸昌也（認定NPO法人 テラ・ルネッサンス）		
備考			



ジオパークによる海洋保全活動			
開催場所	下北文化会館1階 展示ホール	参加人数	20
企画団体	隠岐ジオパーク推進機構		
世話人	野邊一寛（隠岐ジオパーク推進機構）		
概要	各地域での海洋ゴミに関する先進的な活動を取り上げ、国連海洋科学の10年に向けて日本ジオパークネットワークとして、こういった活動を残り6年間で実施していくか、またその活動を通して地域が海洋ゴミに対する意識がどう変化したのかなどの効果を共有します。地域での、清掃活動の際にペットボトルの総重量を計り、海だけでなく山や川から流れることを理解し、どうすれば減らすことができるのか考え実行することを目的に開催します。		
参加推奨	・ 海洋環境、海岸漂着ごみなどの事業を実施している地域の方 ・ 海洋環境の保全保護に興味のある方		
開催形式	グループワーク型		
スピーカー	・ 後呂好俊（南紀熊野ジオパーク） ・ 谷山真紀、石川徹（霧島ジオパーク）		
備考	筆記用具をご持参ください		



現地に行きたくなる展示表現とは？			
開催場所	しもきた克雪ドーム	参加人数	37
企画団体	地球時間の旅展プロジェクトチーム(R5文化庁 Innovate MUSEUM 事業)		
世話人	香取拓馬(フォッサマグナミュージアム/糸魚川ジオパーク協議会事務局)		
概要	<p>地球時間の旅展プロジェクトチーム (R5文化庁 Innovate MUSEUM 事業) では、全国のジオパークの魅力を凝縮した巡回展を制作しました。</p> <p>この巡回展では、見た人に「現地に行ってみたくなる・いつもの暮らしをちょっぴり豊かに感じる・未来について考えるきっかけになる」ことを目指しています。</p> <p>今年からスタートしたばかりの巡回展を見ながら、ビジターセンター内の展示や、看板・ガイドブックなどの制作に役立つ表現方法について意見交換します。</p> <p>《ジオパーク巡回展「地球時間の旅」特設ページ》 https://earthtime-journey.geopark.jp/</p>		
参加推奨	<ul style="list-style-type: none">・展示物や印刷物の作成に関わる方 (学芸員・専門員・事務局員など)・日本スケールの広い視点から自分の地域を見つめ直したい方(ガイドなど)・巡回展示に興味のある方 (どなたでも)		
開催形式	グループワーク型		
備考	ジオパーク巡回展「地球時間の旅」は、大会期間中、しもきた克雪ドーム内で展示しており、いつでもご覧いただけます。		



対話を通じてジェンダー平等を考える			
開催場所	プラザホテルむつ2階 プラザドーム	参加人数	11
企画団体	ジェンダー平等推進ワーキンググループ立ち上げ委員会		
世話人	新名阿津子（高知大学）		
概要	<p>本分科会では、日本のジオパークにおいてジェンダー平等を推進するにあたり、みなさんの日頃の経験や思い、悩みを共有しながら、その課題や改善点、対応策を考えはじめることを目的としています。日本のジオパーク活動における意思決定への女性参加の課題、雇用や待遇面での問題、ご自身の身の回りのジェンダーバイアスや無意識の思い込み・偏見（アンコンシャスバイアス）、女性の健康や生活のためのインフラ整備や防災分野での諸課題など、参加される皆さんとゆっくりと対話したいと思います。また、ジェンダー平等推進ワーキンググループを立ち上げるにあたり「仲間」もあわせて募ります。</p>		
参加推奨	・ジェンダー平等に関して、議論・グループワークをしたい方 (興味本位での参加はご遠慮ください)		
開催形式	その他（対話型）		
備考	本分科会の趣旨に合わないご発言等が見られる場合は退室をお願いすることがあります。		